



とちぎマイスター「印章彫刻（木口彫刻作業）」の技能の例

世界で一つだけの“自分のしるし”を作り続ける

なかだ たけし
中田 武

栃木市 在住

(有) イズミ印房

(TEL 0282-23-0133)

『自分のしるし・会社のしるし』

(現在の仕事)

“自分のしるし・会社のしるし”を印章という形で彫刻している。要望に沿った配字と印材を使用して彫刻し、何度でも、押したくなる印章作りを心掛けている。

(得意な分野)

印章には、種々の書体、配字があるのでお客様の要望・用途に応じた適切な書体、配字には特に配慮し、お客様の目前で出来上がり時の印章のイメージを表現するように心掛けている。特に篆書体は、普段は使用しない書体であるので、意味から説明しながら字の選択、配字を行っている。

“変化するものと動かないもの”を見極め、 伝統を守る

I Tの発達による社会変化により印章の価値が変化している。その変化に対応する事が大切であるが、“変化して良いもの”と“変化してはいけないもの”を見極める為、基本となる知識・伝統的な作業を徹底的に身につける必要がある。

“自分のしるし”であるため、本来の意味以外の種々の情報に惑わされやすい。印章人としては、技術のみでなくその意味・歴史・利用法などを常に学び、お客様にしっかりと説明できるようにし、また美しい印章を作る事により、印章を持つ喜びを感じてもらう事が、印章文化の伝承に繋がるものと思う。

